

## テーマ別グループワーク（意見交換）について

### 1. グループワークの目的

宇治市子ども・子育て支援事業計画の基本理念及び基本的視点を踏まえ、宇治市の子ども・子育て支援に関する環境の充実・向上を図ることを目的とします。

- 計画の基本理念 : 「次代を生きる子どもたちの夢と笑顔を育むまち 宇治」  
計画の基本的視点 : ① 子どもの視点に立った支援  
② 家庭の視点に立った支援  
③ 地域社会の視点に立った支援

### 2. グループテーマと参加グループ

今年度の会議で進めていくテーマ別グループワーク（意見交換）について、前回会議でのご意見等を踏まえて、3つのグループテーマを設定し、各委員の参加グループを次のとおりとします。

#### グループ① 「家庭を基盤にしながら地域で子どもが育つ支援のあり方」

○迫副会長、大西委員、篠原委員、谷安委員、吉井委員、堀野委員、松井明恵委員、松井敏子委員

- ・保護者と家庭を子育ての中心的存在としながら、地域・行政の支援のあり方
- ・保護者の経済力によって子どもの成長が左右されないような環境づくり
- ・学童期・中高生期における安心、安全な居場所づくり・・・など

#### グループ② 「子どもの個性にあわせた就学前サービス・就学前施設のあり方」

○安藤会長、後藤委員、橋口委員、松村委員、弓指委員、杉本委員、宮崎委員

- ・保護者の就労形態にかかわらず、子どもに適した成育環境を保障できる環境づくり
- ・障害の有無によってサービス・施設の制約を受けないような環境づくり・・・など

#### グループ③ 「子どもを育てやすい社会環境のあり方」

岡本委員、小野委員、小林委員、稲吉委員、上西委員、岸委員、北川委員、浅妻委員

- ・雇用主としての従業員向けの育児支援の取り組みの促進
- ・店舗・企業等による子育て世帯向けのサービス拡大の促進
- ・まちぐるみで子育てを応援する雰囲気づくり・・・など

### 3. 今後のグループワークの進め方

進行役を中心に、平成 29 年度中に予定されている会議（本日のを含め 4 回程度を予定）で、以下のポイントで意見交換をお願いします。

- 各テーマに設定されている“あり方”は、宇治市の子どもにとってどのような“あり方”が良いか。
- それを実現するためには、何が必要か。何があって何が足りないか。自分たちに何ができるか。どのような機関・団体のどのような取り組みが望まれるか。

これらのポイントでグループワークを進めていただき、必要に応じて中間報告をしていただくほか、平成 29 年度の最終回の会議（平成 30 年 3 月頃予定）には、グループごとにまとめを発表していただく予定です。

なお、今後のグループワークの参考とするため、他の市町村や団体等の資料を各自で収集し、各グループ内で配布・共有いただくことも可能です（ただし、原則として事前に会長・副会長・進行役の承認要）。

また、必要に応じて、宇治市の所有する各種資料（事業内容や予算額・利用者数など）の提供を事務局に求めることも可能ですので、グループごとに必要な資料があれば、事務局へ申し出てください（ただし、資料によっては次回会議での提供となる場合があります）。